様式第８号(第７条関係)

宿泊税納入申告書

1 令和〇年〇月〇日

富士河口湖町長　様

2 特別徴収義務者　住　　所　山梨県南都留郡富士河口湖町
（所在地）　船津〇〇〇〇番地〇
氏　　名　株式会社　河口湖宿泊観光
（名　　称）
個人番号(法人番号)　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
電話番号　０５５５－〇〇－〇〇〇〇

富士河口湖町宿泊税条例10条第１項の規定により、宿泊税の納入について、次のとおり申告します。

3 宿泊施設	所在地	富士河口湖町船津△△△番地
	名　称	河口湖■■■旅館
	施設番号	●●●●●●

4

	区　分	宿泊数(泊)	税　率	税額(円)
令和〇年〇月分	課税対象	300	200円	60000
	課税対象外	50		

※以下は、納期特例の場合のみ使用

	区　分	宿泊数(泊)	税　率	税額(円)
年月分	課税対象		200円	
	課税対象外			

※以下は、納期特例の場合のみ使用

	区　分	宿泊数(泊)	税　率	税額(円)
年月分	課税対象		200円	
	課税対象外			

5	指定納期限	令和　〇年　〇月　〇日
6	納入すべき金額　合計(円)	60000

注　課税対象及び課税免除の宿泊数が宿泊年月日ごとに記載された書類(宿泊税月計表)を添付してください。

1「提出年月日」欄
・ 申告書の提出年月日を記入してください。(郵送の場合は、発送年月日を記入してください。)

2「特別徴収義務者」欄
・ 特別徴収義務者の住所(所在地)、氏名(名称)、個人番号(法人番号)、電話番号を記入してください。

3「宿泊施設」欄
・ 宿泊施設の所在地、名称、施設番号(町からお送りする宿泊税特別徴収義務者経営申告受理通知書または特別徴収義務者指定通知書に記載)を記入してください。

4「宿泊月」欄
・ 対象となる宿泊月を記入してください。
・ 申告納入期限の特例の適用を受けている場合は、該当する月についてそれぞれ記入してください。特例の適用については19ページを参照してください。

「宿泊数」欄
・ 対象月の課税対象となる宿泊数と課税対象外の宿泊数をそれぞれ記入してください。
・「課税対象外」にあたる宿泊は次のとおりです。
  ① 宿泊料金のかからなかった宿泊(添い寝、施設判断で無料とした宿泊など)
  ② 修学旅行その他学校行事による宿泊(課税免除)
  ③ 外国大使等の任務遂行に伴う宿泊(課税免除)
  ④ 上記のほか、災害その他の理由により町長が納入の免除を認めた宿泊

「税額」欄
・ 課税対象宿泊数×200円(税率)した金額を記入してください。

5「指定納期限」欄
・ 対象月の申告納入期限を記入してください。通常は対象となる宿泊があった月の翌月末が納入期限となりますが、月末が土日祝日となる場合や年末、申告納入期限の特例を受けている場合はこの限りではありません。詳しくは18ページを参照してください。

6「納入すべき金額 合計」欄
・ 対象月の納入すべき金額(税額の合計)を記入してください。
・ 申告納入期限の特例の適用を受けている場合は、各月の納入すべき金額の合計を記入してください。